

滋賀国スポ・全国障害者スポーツ大会の 開催延期等を踏まえた支援の充実

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



- 国スポ・障スポ大会の簡素化につながる見直しを検討されたい。
- 両大会開催延期の影響を緩和するための財政支援や、感染症対策に要する経費への財政支援の拡充・継続を図られたい。

【提案・要望先】財務省、文部科学省

1. 提案・要望内容

両大会開催延期等を踏まえた支援の充実

- 開催県・開催市町の財政負担軽減に向けて、国スポ・障スポ大会の簡素化につながる見直しを検討すること。
- 両大会開催延期の影響を踏まえた国による財政支援を拡充・継続するとともに、開催延期となった開催県に対するスポーツ振興くじ助成金の適用拡大や協賛金交付金の増額を関係団体に要請するなど、両大会運営費への支援の充実を図ること。
- 国民体育大会施設基準および各競技団体の競技規則のより一層の弾力的な運用を日本スポーツ協会・中央競技団体へ指導すること。
- 2024年のパリオリンピック・パラリンピック等に出場されるトップアスリートの滋賀国スポ・障スポへの出場など大会の盛り上げに向けた協力を行うこと。
- 両大会における感染症対策に要する経費への財政支援を拡充・継続すること。

2. 提案・要望の理由

- 新型コロナウイルス感染症対策に取り組む中、開催県・開催市町では両大会開催に伴う財政負担が課題となっている。
- 両大会開催延期に伴い、競技力向上対策費等の増額が生じたが、令和2年度の国による財政支援では対象とされていない。
- 延期に伴う経費増は一部の開催県のみが生じているものであり、延期の影響を受けた県に対する財政支援の拡充・継続が必要。
- 開催延期となった本県においても2024年のオリンピック・パラリンピックを活かした機運醸成や大会開催が図れるようにする必要がある。
- 安全・安心な大会運営を図るために、今後も引き続き必要と見込まれる両大会における感染症対策に要する経費に対し、国による財政支援の拡充・継続が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 両大会開催に向けた取組状況

① 施設整備

両大会開催に向けて、県民のスポーツ活動や健康づくりの拠点となる施設整備を推進。



(仮称) 金亀公園陸上競技場



滋賀アリーナ

② 開催準備

平成 25 年（2013 年）に開催準備委員会を設置し、以来、広報・県民運動、競技運営、式典、輸送・交通、宿泊・衛生、警備・消防などの取組を推進（延期に伴い、事業期間が 1 年延長）。

→延期に伴い、広報費を中心に開催準備事業への影響が発生。



啓発活動

③ 競技力向上対策

両大会に向けて、選手の育成・強化等を推進。

→延期に伴い、競技力向上対策事業への影響が発生。



本大会での成年選手の躍動



レイキッズ事業での選手強化

(2) 延期に伴う国スポ・障スポ関連事業費への影響

○ 開催延期に伴う事業期間の延長や2024年のターゲットエイジの支援継続等のため、経費に影響が生じている。

「競技力向上対策経費」 + 4 億円（32億円→36億円）
「人員体制整備」 + 1 億円（14億円→15億円）

(3) 今後の課題

- 延期等を踏まえた国等による財政支援の拡充・継続が必要。
- 両大会の開催準備および大会運営の簡素化が必要。

担当：文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会課 総務企画係 TEL：077-528-3321